

# すず若者意見交換会(第1~2回)報告

## ●すず若者意見交換会とは？

それぞれが今考えていることや想いを共有し、自分たちはどう生きるか、これからの珠洲をどうしていくかを一緒に考えようという会です。本会での意見は市役所関係課室にも共有するとともに、ホームページ等で公開します。

## ●第1~2回開催

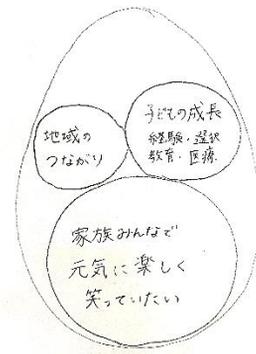
6月~9月にかけて、金沢方面、珠洲市内、オンラインで計5回開催し、77名が参加しました。1回目は「自分や家族がどう過ごしたいか」「これからの珠洲市のために何に取り組むか」について、2回目は「子ども・教育」をテーマとして「珠洲の学校教育で大切にしたいこと」などを議論しました。



会場の様子(左:野々市、右:珠洲)



お子連れれの参加者も



大切にしたいことを「幸せのたまご」で表現

## ●第1~2回で出た意見(まとめ)

以下の通り、本会にて出た意見を復興計画(案)の基本方針及び施策ごとに分類しながらご報告します。詳細は別紙資料「すず若者意見交換会 意見一覧表」をご覧ください。

### 基本方針2 暮らしとコミュニティの再建 (※このうち、施策2-4「学びの環境の再建」については裏面に記載)

- ・ 家族みんなで一緒に暮らしたい。
- ・ 珠洲にいたい、珠洲で暮らしたい(衣食住が満たされて、安心安全な、生き生きとした)。
- ・ 区長以外に住民意見を集約するまとめ役が必要。世代交代の時期。区長には言いにくいことだってある。
- ・ 市の復興のために、地元の若者だからこそできることを進め、珠洲を盛り上げる一員になる。
- ・ 地域(在所)を超えたつながりが必要。例えば、A町で解決した課題をB町ですぐに解決できるように。
- ・ 協議団体など、復興について話し合い、行動するための団体が必要。
- ・ 黒瓦のまちなみ再建。町の景観は自然や地形、文化などからできている。
- ・ 文化の存続、祭りの再開(再建)。祭りは重要、祭りがしたい。
- ・ 珠洲の復興には子ども中心の考えが必要。
- ・ 出産可能な医療体制が必要。珠洲では出産ができず、健診も受けられない。

### 基本方針3 生産性の向上を図るなりわいの再建

- ・ 事業再建目処をたてること。事業再建による復興の基盤づくり。
- ・ あみだ湯のような人が集まる場所を守っていききたい。大切にしていきたい。
- ・ 「仕事を失った」「お店をやりたいけどもできる状況じゃない」などの問題を抱えている。失職者への支援が必要。
- ・ 海、船、港の安全確保。
- ・ 空港付近に新たな町ができるのは面白い。奥能登2市2町で復興を考える必要がある。行政同士での連携が難しくても民間同士なら可能か。
- ・ 仮設店舗を利用できる事業者を新設会社もOKにして欲しい。
- ・ スタートアップ企業への補助金の支援。
- ・ 仕事の選択肢が少ないことが課題。(土木関係や公務員が多い)
- ・ 有名企業誘致による求人増加(人と土地の整備)。
- ・ 珠洲で何かをやりたい人は大勢いると思う。

### 基本方針4 これまでの取組みを活かした魅力ある地域の再生

- ・ 若い人が増えること、移住者が増えること。
- ・ 子どもも高齢者も住みやすいまち。
- ・ 里山里海が守られる、自然と共存しているきれいな珠洲。
- ・ 珠洲の魅力は豊かな自然と人。

### 基本方針5 DXの推進による「つながる社会」の実現

- ・ 都市的になりすぎると魅力(自然や人間らしい営み)が減る可能性がある。
- ・ やむなく市外へ出た世帯や子どもたちとの交流の機会があるとよい。(転校先の学校と珠洲の学校がオンラインでつながる、一緒に授業を受けるなど)

## ●「子ども・教育」に関する意見

第2回目はこちらのテーマで意見交換会を開催し、多くの意見を頂きました。一部をご紹介します。

### 施策2-4 学びの環境の再建

#### 子どもにとって大切にしたいこと

- ・ 統合とか、大人数、少人数など正直どうでもいい。形より中身。環境が大事。人口や市の財政状況等の都合により変わっていく。子どもたちに寄り添える、先生が楽しく働ける、子どもたちの知性を伸ばす、尊重する環境。それも、いまではなく数十年後の知性を伸ばしてあげられる環境をつくりたい。
- ・ 自分で切り開いていく力（人間力）が必要。先生に言われたから、みんながやっているからでなくて。
- ・ 子どもに多くの選択肢を与えたいと思う一方で、限られた環境の中でどうするのか生きていく力を養うことも大切（例えば、冷蔵庫にあるものだけで料理をつくる感覚）。
- ・ 珠洲で子育てしたいと今は思えない。いろんな物事や経験の機会が少ない。
- ・ 学校教育では、最低限の読み書き計算、社会性（コミュニケーションの力）など義務教育の質を上げる。
- ・ セーブザチルドレンのアンケートを参考にしよう！遊ぶ場所がなくなったとか、やりたいことが書いてある。
- ・ 子どもたちが奪われてしまった公園や運動場の代わりにするものを探す、子どもと一緒につくる。
- ・ 子どもたちが珠洲で過ごして、仲間と思いをしてくれる環境を大切にしたい。
- ・ 子どもは親の影響を受けやすい。親がいまの珠洲をどう思っているのかが重要。珠洲を好きになるにはどうしたらいいか。自分たち大人が生き生きとして、人任せにせず、ちゃんとやるのが1番なのでは。
- ・ 保育園児など今後珠洲を継ぐ子どもたちが、珠洲をふるさとだと認識する前に離れてしまっていることが大きな問題である。戻ってきやすい教育環境を整える。

#### 地域と学校について

- ・ これからの学校や教育、子育て環境の在り方について、ちゃんと議論すること。市と住民とで合意形成を進めること（統合すべきだ、地域に在った方が良い、だけでなく議論を前に進めていきたい）。
- ・ 部活の選択肢がない⇒スポーツクラブがあってもいい。運動部・文化部の地域移行が進めば地域との交流が盛んになり、豊かな環境になるのでは。
- ・ 学校が統合したら地域で育てられるような仕組みを、分散したままなら、例えば体育の授業だけは全校集まってやるなど、どちらのカタチになっても、課題に対して解決する方法を確実に取っていくことが大切。
- ・ 学校がすでに統合されて無い地域、例えば狼煙地区などは地域として廃れているかということそうではない。むしろ主体的に活動されていて元気な地域だという印象。そこに住む個人の影響もあるだろうけど。一方、直地区は人は多いけど、アクションは起こせていない。どの地域も潜在力はあって、アクションを起こすコト、人が大切。
- ・ 都会は塾やクラブがあり選択肢はあるけど、珠洲にはない。珠洲でどうやって、学校教育と、地域と、家庭で役割分担してやるか。学校教育ではとにかく基礎学力を身に付けることが重要で、その他のことは地域でやろう！とか、学校教育に多くを求めすぎない。どうやって分担するかが重要。
- ・ どうやったら珠洲を好きになるか＝郷土愛の醸成を学校や地域でどう行うか。
- ・ 移住定住促進や人口減少に抗うために子どもたちに還ってきてほしいと思うのは、郷土愛の搾取につながると良くない。本人の幸せや自己実現のための郷土愛と考えたい。
- ・ 特色のあるコミュニティスクールを伸ばしていく。
- ・ 先生たちの現場の声がここに無い。でも声を上げにくいのかと思う。管理職を通さなければ答えられないと言われたことがある。

#### 学校の人数規模について

- ・ 珠洲の良いところを残したい。子どもが震災後市外の学校（30人/クラス）に行ったが、やっぱり珠洲の学校がいいと言って戻ってきた。少人数の方が雰囲気良かった。
- ・ 一人ひとり保護者と面談をして通知表を渡すことはとても丁寧。都会だとそうならないのでは。
- ・ 子どもたちが意見を言い合うときは大人数の方がよさそう（多様な価値観に触れる機会）。例えば日頃いろんなところにいる子どもたちがオンラインで交流し、必要に応じて1か所に集まるような体制をつくる。
- ・ 同じ境遇で顔見知りが多い場所は多少不便でもずっと住み続けたい場所になる。一方で僻地に一人で暮らしていると除雪や草刈りなど維持管理コストがかかる。学校も分散しすぎると同級生がいなくてキャッチボールもできない。適度な集約化と分散化が実現してほしい。
- ・ 義務教育学校に魅力がある（珠洲に義務教育学校が出来たと聞いてUターンした）。少人数の丁寧な指導など。
- ・ 人数が1ヶ台は少ない。一人ひとりの役割が多い。先生の目が行き届きすぎて自主性が育ってなさそう。できることが限られるという課題はある。
- ・ 学校統廃合について、すぐに統合をするのは現実的ではないが、現状を放置していい訳でもない。ハード面はすぐに対応できないものの、ソフト面での何かしらの工夫や対応が必要。
- ・ 周りの子育てで世代に聞いてみた。＜珠洲を出るか迷うポイント＞安全な遊び場がない。放課後両親が帰るまでの居場所がない。少人数すぎて良い環境ではない。一刻も早く学校統合してほしい。

## ●今後の予定

11月「住まい」、1月「仕事、なりわい」をテーマに開催する予定です。

## ●お問い合わせはこちら

すず里山里海移住フロント（事務局：珠洲市企画財政課）

電話：0768-82-7726 メール：iju@city.suzu.lg.jp

公式LINE：@392wolaq（右記二次元コード）



# すず若者意見交換会 開催記録

## ●第1回開催

テーマ 「自分や家族がどう過ごしたいか（これから半年）」  
「これからの珠洲市のために何に取り組むか（もし自分が市長なら）」

日程	会場	参加人数	
6月30日	野々市市（いしかわ大学連携インキュベータ）	15名	
7月6日	珠洲市（市役所4階会議室）	16名	
7月10日	オンライン（ZOOM）	20名	計51名

## ●第2回開催 ※NPO法人ガクソー共催

テーマ 「子ども・教育」

日程	会場	参加人数	
8月31日	珠洲市（台風のためオンラインに切替）	12名	
9月1日	金沢開催（参加人数が少ないため中止）	中止	
9月3日	オンライン（ZOOM）	14名	計26名

## ●第3回開催 11月予定

テーマ（仮） 「住まい」

日程	会場	参加人数
未定	金沢、珠洲、オンラインの3回を予定	

## ●第4回開催 1月予定

テーマ（仮） 「仕事・なりわい」

日程	会場	参加人数
未定	金沢、珠洲、オンラインの3回を予定	

- ✓興味があるテーマの会にぜひご参加ください！周りの人の声や意見を代弁する心意気で。
- ✓テーマごとにスピノフの会を開催予定です。ご関心のある方はご連絡下さい。
- ✓開催レポートをホームページに掲載中です！（右記二次元コード）

珠洲発・暮らしのウェブマガジン「すっとうと」

